

日本宗教学会
第53回学術大会

期 日 1994年9月9日(金)～11日(日)

会 場 立 正 大 学

東京都品川区大崎4-2-16

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、なるべく発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いします。
5. 研究発表のレジュメ（表紙・本文）は部会責任者にお渡し下さい。

枚数 400字詰原稿用紙4枚（1600字）程度

締切 大会最終日（9月11日）午後4時30分

（以後の提出、訂正は一切受け付けません）

★タイトルは発表題目と違わぬようご注意ください。

また、欧文タイトルおよび氏名のアルファベット表記も忘れずにお書き添え下さい。

6. 荷物は所定のクロークをご利用下さい。
7. 喫煙は所定の場所以外ではご遠慮下さい。
8. 会員休憩所に飲み物の用意がしてあります。ご自由にご利用下さい。
9. 大会本部への電話は次の番号をご利用下さい。

03-3492-8528（仏教学部事務室）

受付
会員休憩所
クローク
日本宗教学会本部
学術大会本部

3号館 1階ホール
3号館 地下1階ラウンジ
3号館 1階311教室
3号館 地下1階
3号館 地下1階

日 程

9月9日(金)

学会賞選考委員会	(1号館4階 第7会議室)	13:00~15:00
『宗教研究』編集委員会	(1号館4階 第7会議室)	15:30~17:00

公開講演会	(石橋湛山記念講堂)	14:00~17:00
-------	------------	-------------

「仏教における法について」

東京大学名誉教授

平川 彰

日本学士院会員

「法華經の一乗思想—声聞成仏をめぐる—」

立正大学教授

勝呂 信静

理事会	(1号館4階 第7会議室)	17:30~19:30
-----	---------------	-------------

9月10日(土)

開会式	(3号館4階 341教室)	9:00~9:20
研究発表	(3号館2階・3階 教室)	9:20~12:00
評議員会	(1号館4階 第7会議室)	12:00~13:30
研究発表	(3号館2階・3階 教室)	13:30~16:10
総会	(3号館4階 341教室)	16:20~17:50
懇親会	(7号館 食堂)	18:00~20:00

9月11日(日)

研究発表	(3号館2階・3階 教室)	9:00~12:00
『宗教研究』編集委員会	(1号館4階 第7会議室)	12:00~13:30
研究発表	(3号館2階・3階 教室)	13:30~16:30
閉会式	(3号館4階 341教室)	16:40~17:00

第1部会 (324教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| 1. フロイト以後の精神分析的宗教研究 | 葛西賢太 (東大) |
| 2. 夢解きの宗教学的意味 | 海山宏之 (筑波大) |
| 3. 気分本位・事実本位・原事実本位—森田正馬と滝沢克己— | 柴田秀 (千葉商大) |
| 4. C・G・ユングのキリスト観 | 渡辺学 (南山大) |
| 5. 応用宗教学としての住職学について | 荒川元暉 (正眼短大) |
| 6. 鈴木馬左也と河瀬秀治—比較宗教人間学的事例考察— | 松本皓一 (駒大) |
| 7. 現代宗教と倫理意識の変容 | 島蘭進 (東大) |
| 8. 現代民衆宗教の問題 | 荒木美智雄 (筑波大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|---------------------------|---------------|
| 1. W. ジェイムズと現象学 | 長谷武久 (大正大) |
| 2. シェラーの宗教現象学の認識射程と限界について | 宮崎真矢 (東北大) |
| 3. ハイラーの宗教現象学 | 宮嶋俊一 (東大) |
| 4. 宗教経験と宗教の「基礎づけ」の問題 | 深澤英隆 (東大) |
| 5. 他者の宗教体験の理解可能性をめぐる | 星川啓慈 (図書館情報大) |
| 6. 宗教体験とその言説 | 澤井義次 (天理大) |
| 7. 「自覚の現象学」の試み | 北野裕通 (相愛大) |
| 8. 経験ということ—宗教理解に向けて— | 上田閑照 (花園大) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. ゼデルブロームの宗教観 | 土井洋 (大正大) |
| 2. ヒックの宗教認識論について | 尾崎誠 (山陽学園大) |
| 3. アンドリュウ・ラングの宗教論 | 吉永進一 (佛教大) |
| 4. エリアーデのオーストラリア宗教論 | 奥山倫明 (南山大) |
| 5. ヨアン・P・クリアーノのグノーシス研究 | 佐々木啓 (弘前学院大) |
| 6. 千年王国論的民衆運動—歴史と神話についての宗教学的考察— | 竹田洋一郎 (筑波大) |
| 7. 宗教学と神話学の生成と展開 | 松村一男 (天理大) |
| 8. 宗教とは何か—宗教の定義の問題— | 服部弘瑞 |
| 9. 宗教哲学における「description」の概念について | 長谷正當 (京大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. フランスの新宗教運動 | 檜尾直樹 (東大) |
| 2. 癒しと救い | 三ツ木真弓 (筑波大) |
| 3. 現代における〈癒し〉について | 弓山達也 (日本学術振興会) |
| 4. 宗教教育論の課題 | 北川直利 (聖霊女短大付属高) |
| 5. 宗教と応報主義 | 小坂国継 (日大) |
| 6. 儀礼研究と近代主義 | 山崎美恵 (共栄学園短大) |
| 7. イニシエーション概念の再検討 | 島田裕巳 (日本女大) |
| 8. オットーにおける宗教学以前 | 前田毅 (鹿児島大) |
| 9. 宗教的目覚めの原態 | 玉城康四郎 (東大) |

第2部会 (325教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | | |
|--------------------------------|-------|------------|
| 1. トマス・アクィナスにおける「自由」の定義について | 佐々木 亘 | (南山大) |
| 2. トマス・アクィナスにおける神の認識—mensをめぐる— | 岸 英司 | (英知大) |
| 3. 死とは何か—パスカルの場合— | 宮 永泉 | (ノートルダム女大) |
| 4. ベルクソンの宗教哲学—人間学的基础の観点から— | 岩田 文昭 | (大阪教大) |
| 5. ヘーゲルとピエティスムス—生命観をめぐる— | 中島 秀憲 | (九州産大) |
| 6. ヘーゲルの悲劇論 | 門脇 健 | (大谷大) |
| 7. ヤスパースにおける「無制約的行為」 | 布施 圭司 | (京大) |
| 8. ヤスパースの非神話化批判をめぐる | 堤 正史 | (大阪成蹊女短大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | | |
|--------------------------------|--------|--------|
| 1. スピノザの延長属性について | 才野 奈緒 | (早大) |
| 2. 生の哲学における宗教—ショーペンハウアーとディルタイ— | 齋藤 智志 | (学習院大) |
| 3. ショーペンハウアーと道徳 | 臼木 悦生 | (大正大) |
| 4. ケルケゴール研究—沈黙の意味するもの— | 三村 徹也 | (大谷大) |
| 5. ケルケゴールの「心理学」について | 平林 孝裕 | (筑波大) |
| 6. ケルケゴールの著作方法とキリスト理解 | 大 利裕子 | (大阪外大) |
| 7. 後期シェリング哲学における悪の問題について | 諸岡 道比古 | (弘前大) |
| 8. 後期シェリングとケルケゴールの思索 | 藤田 正勝 | (京大) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|----------------------------------|-------|-----------|
| 1. 経験から形而上学へ—後期ホワイトヘッドの根本問題— | 安藤 恵崇 | (日本学術振興会) |
| 2. ホワイトヘッドにおける生命の概念をめぐる | 宮野 升宏 | (大正大) |
| 3. 前期ハイデガー思想における「根拠」への問 | 松本 直樹 | (京大) |
| 4. ハイデッガーとウィットゲンシュタイン | 神尾 和寿 | (新居浜高専) |
| 5. ハイデッガーにおける死の問題 | 吉本 浩和 | (市邨学園短大) |
| 6. ハイデッガーの技術論 | 秋富 克哉 | (京都工芸繊維大) |
| 7. キリスト教と禅 | 土井 道子 | |
| 8. 後期西田哲学に於ける歴史的・身体論と経験科学の立場について | 森本 聡 | (近大) |
| 9. 西田哲学における直観の意義 | 中山 一萱 | (京都産大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | | |
|----------------------------------|--------|---------|
| 1. 宗教と科学の関係史をめぐる—考察 | 飯田 篤司 | (東大) |
| 2. 十八世紀ハーバート解釈の—考察 | 玉井 実 | (東京工芸大) |
| 3. 国民概念における「女性」—あるエジプト人作家の目を通して— | 八木 久美子 | (東京外大) |
| 4. 西欧中世の女性と書簡 | 大道 敏子 | (北大) |
| 5. 西洋中世文学作品に見られるアムレット | 長井 英子 | (関東学院大) |
| 6. プラトン中期対話篇における魂の不死の問題 | 和田 義浩 | (早大) |
| 7. 初期ペリパトス派における神の概念 | 土屋 睦廣 | (東京工芸大) |
| 8. ドッズの『非合理』と古代ギリシャ宗教 | 保坂 幸博 | (東海大) |
| 9. 『パイドン』の魂の不死説 | 澤田 隆幸 | (道都大) |

第3部会 (326教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. キリスト教奉仕女会のケア思想-DIAKON概念の伝統と継承- | 中里 巧 (東洋大) |
| 2. カトリック修道女の宗教意識 | 中村 恭子 (川村学園女大) |
| 3. 女性神学視点における小さき者 | 一色 義子 (恵泉女学園大) |
| 4. ル・フォルにおける「人間」 | 八木 博 (山梨大) |
| 5. M・ブーバーにおけるハシディズムの受容 | 早乙女 禮子 (大阪体大) |
| 6. <原初の契約>について | 鎌田 繁 (東大) |
| 7. 聖書の贖罪精神と共生-新英語訳聖書の翻訳を中心として- | 木原 範恭 (近大) |
| 8. 旧約祭司文書における「範例的モデル」思考 | 吉田 泰 (明学院大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. ラビ・ユダヤ教時代のシナゴークにおける説教 | 藤井 悦子 (東大) |
| 2. 「我らのラビ・モーセ」のまねび-ラビユダヤ教の理想的人間像- | 市川 裕 (東大) |
| 3. ハシディズム-19世紀東欧における宗教運動- | 黒川 知文 (東京基督教大) |
| 4. 神話と言葉 | 谷口 静浩 (関西学院大) |
| 5. 死者の「魂の眠り」とドイツ宗教改革 | 木塚 隆志 (日本学術振興会) |
| 6. ルターの詩篇解釈における言葉と音楽 | 竹原 創一 (立大) |
| 7. グスタフ・マーラーの音楽の宗教性-特に第3交響曲をめぐって- | 山我 哲雄 (北星学園大) |
| 8. ゲルマンとキリスト教の造型における光と言葉の表象形態 | 植田 重雄 (早大) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. エックハルトの何故なき生・何故なき働き | 松田 美佳 (大阪成蹊女短大) |
| 2. ニコラウス・クザーヌスにおける「近代と反近代」 | 八巻 和彦 (早大) |
| 3. ラディカル・ピエティスムスの学識批判-アルノルトにおける- | 蝶野 立彦 (早大) |
| 4. 神秘家ジェーン・リードにおけるソフィア像をめぐって | 門脇 由紀子 (和洋女大) |
| 5. Q. クールマンの預言的幻視について | 岡部 雄三 (東大) |
| 6. ミシェル・ド・セルトールの「神秘主義」理解 | 鶴岡 賀雄 (工学院大) |
| 7. 《宗教》の概念をめぐって-シュライエルマッハーとバルト- | 掛川 富康 (茨城キリスト教大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. ティリッヒの宗教思想の根本問題-初期ティリッヒを中心に- | 芦名 定道 (大阪市立大) |
| 2. ティリッヒ『組織神学』-組織神学の資料・経験・規範- | 日下部 哲夫 (戸板女短大) |
| 3. キリシタンの他界観 | 宮崎 賢太郎 (長崎純心大) |
| 4. カトリシズムにおける霊性の重相性について | 石脇 慶總 (南山大) |
| 5. キリスト者の家庭的教会の伝統 | 青山 玄 (南山大) |
| 6. 大主教ニコライの日本理解-啓蒙礼儀を中心に- | 尾田 泰彦 (越谷市立西中) |
| 7. 現代ドイツにおける信仰の在り方についての一考察 | 酒井 紀幸 (早大) |
| 8. 古代キリスト教におけるシュンボルム | 三小田 敏雄 (東海大) |
| 9. 教典の受容とその機能の変化-日本における聖書- | 土屋 博 (北大) |

第4部会 (321教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 儀礼的知識の生成—国家儀礼研究の諸相— | 栗津賢太 (創 価 大) |
| 2. アメリカの反カルト運動と東洋宗教 | 中野 毅 (創 価 大) |
| 3. 現代アメリカにおけるキリスト教ヒーリング論 | 池上良正 (筑 波 大) |
| 4. 巡礼行動としての修学旅行 | 石倉孝祐 (神 奈 川 大) |
| 5. 肉食は穢れか?—イケニエ論との関連から— | 中村生雄 (静 岡 県 立 大) |
| 6. デュルケムに対するロバートソン・スミスの影響 | 宇都宮輝夫 (北 大) |
| 7. サルトルとレヴィ・ストロース—文化理解の方法論的問題— | 高橋 渉 (宮 城 学 院 女 大) |
| 8. ヴェーバーの宗教社会学的分析の基本的枠組みと天皇制論 | 池田 昭 (中 京 大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. アナトリア=トルコのアレヴィー派村落における信仰形態について | 佐 島 隆 |
| 2. スピーチアクト理論による現代絵馬の分析 | 高山 眞知子 (江 戸 川 大) |
| 3. 機能神的信仰と全能神的信仰 | 鈴木 岩 弓 (東 北 大) |
| 4. 宗教的象徴としてのFiliation—祖先崇拜の本質と類型— | 池澤 優 (筑 波 大) |
| 5. 巫祝王から建国の始祖へ—朱蒙伝説に関する一考察— | 森 雅 子 (慶 大) |
| 6. シンボロンと割符—聖なるシンボリズムの存在論的基礎について— | LIANA TRUFAS (筑 波 大) |
| 7. 絵画における太陽の表現について | 若麻績 敏 隆 (浄 土 宗 総 合 研) |
| 8. メタファーとしての自己—宗教と妥当性— | 井 門 富 二 夫 (桜 美 林 大) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. チベットにおける仏教の現状について—阿里地区の石窟を中心に— | 則 武 海 源 (立 正 大) |
| 2. ネパール仏教における供養と観想法 | 山口しのぶ (名 大) |
| 3. 初期ジャイナ教の祖師研究—転輪王のratnaについて— | 杉岡 信 行 (東 方 研 究 会) |
| 4. ジャイナ教と仏教における「諸悪莫作」について | 渡 辺 研 二 (淑 徳 短 大) |
| 5. ツォンカパの『最高の国土の開門』の一解説書について | 梶 濱 亮 俊 (撰 南 大) |
| 6. bsam gtan mig sgronと18虚心 | 金子 英 一 (大 正 大) |
| 7. 宗教におけるエロス—性的行動化としての真言立川流— | 河 東 仁 (国 立 東 京 高 専) |
| 8. マンダナ・ミシュラのsattā説について | 黒 田 泰 司 (大 阪 学 院 大) |
| 9. ガンダヴァーハにおける聖仙・毘目多羅の法門 | 小 林 圓 照 (花 園 大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------|
| 1. ゴーヴァルダナ・ダーラナ神話とゴーヴァルダンプージャー | 及 川 弘 美 (東 方 研 究 会) |
| 2. 『ブラマーナ・ヴァールティカ』章順問題再考—宗教学派の議論— | 小 野 基 (筑 波 大) |
| 3. yathābhūtaの語義と用法をめぐって | 田 崎 國 彦 (明 海 大) |
| 4. mano-maya (意生・意成) について | 久保田 力 (東 北 芸 術 工 科 大) |
| 5. ガンディーの禁欲 | 近 藤 光 博 (東 大) |
| 6. 宗教と政治—マハトマ・ガンディーの思想と行動— | 葛 西 実 (I C U) |
| 7. ラーマクリシュナミッションの日本伝道について | 堀 内 み どり (天 理 大) |
| 8. クリシュナムルティの教団批判 | 西 尾 秀 生 (近 大) |
| 9. 不二一元論学派の誤知論Anirvacanīya-khyāti | 村 上 真 完 (東 北 大) |

第5部会 (322教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|----------------------------------|---------------------|
| 1. 阿毘曇心論の業品について | 智 谷 公 和 (崇 徳 高) |
| 2. アビダルマの滅論 | 那 須 円 照 (龍 大) |
| 3. バッガヴァド・ギーターの折衷性について | 關 戸 法 夫 (東 方 研 究 会) |
| 4. 定果色に就いて | 加 藤 利 生 (龍 大) |
| 5. 初期大乘仏教における三昧と陀羅尼の関係について | 塩 沢 靖 浩 (東 洋 大) |
| 6. 印度大乘仏教における礼拝対象の観念史—総合的見地から— | 杉 木 恒 彦 (東 大) |
| 7. インド仏教衰亡原因について—イスラーム要因とその他の要因— | 保 坂 俊 司 (麗 沢 大) |
| 8. 仏教梵語における抽象接尾辞の意味 | 佐 藤 祖 哲 (岩 手 大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 瑜伽論に見る菩薩階位と声聞階位 | 清 水 海 隆 (立 正 短 大) |
| 2. 唯識無境と応離功用無顛倒智についての一考察 | 菊 地 哲 (大 谷 大) |
| 3. 義寂撰『大乘義林章』に関する一考察 | 森 重 敬 光 (龍 大) |
| 4. 善珠の無表業について | 井 上 英 正 (龍 大) |
| 5. 三階教の教判について | 西 本 照 真 (日本学術振興会) |
| 6. 傳大士と輪藏—傳大士信仰の成立と展開— | 永 井 政 之 (駒 大) |
| 7. 『六祖壇經』の五本、七冊について | 長 嶋 孝 行 (国立国会図書館) |
| 8. 普賢行願品の中国的理解 | 石 橋 真 誠 (京 都 文 教 短 大) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 『大宝積經論』の經典解釈をめぐる | 上 田 愉 美 子 (龍 大) |
| 2. 大智度論における禅波羅蜜義について | 菅 野 龍 清 (立 正 大) |
| 3. 大乘起信論について—如来蔵思想と本覚思想を考える— | 環 栄 賢 |
| 4. 般若經〈常啼菩薩品〉の主題 | 勝 崎 裕 彦 (大 正 大) |
| 5. 『釋浄土群疑論』に説かれる懐感の人間観 | 村 上 真 瑞 (佛 教 大) |
| 6. 善導における『成実論』の影響について | ジョアキン・モンテイロ (名 大) |
| 7. 一乗海—善導の人間観— | 調 晋 一 (大 谷 大) |
| 8. 七寺所蔵、迦才『浄土論』中巻について | 坂 上 雅 翁 (淑 徳 短 大) |
| 9. 善導浄土教における如来蔵思想を問う—自己批判として— | 秦 治 人 (大 谷 女 大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 「新人間親子説」について—原始神道・産靈神・産声を廻りて— | 宮 田 十 寸 穂 |
| 2. 日本宗教における女性性の問題—新宗教を中心にして— | 朴 奎 泰 (東 大) |
| 3. 外来新宗教の日本での展開過程—ラジニシ運動を事例として— | 伊 藤 雅 之 (ペンシルバニア大) |
| 4. 「イエスの方舟」と救済物語 | 萩 原 修 子 (九 大) |
| 5. 救済の風景—新宗教における救いの論理と限界— | 広 瀬 浩 二 郎 (京 大) |
| 6. 新宗教における信仰の革新について | 福 嶋 信 吉 (東 大) |

第6部会 (323教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | | |
|----------------------------------|--------|---------|
| 1. 韓国の民族宗教と基督教—檀君教教主の基督教改宗をめぐって— | 渕上 恭子 | (南山大) |
| 2. 韓国における精霊統御者型シャーマンについて | 川上 新三 | |
| 3. 韓国・珍島における世襲巫の現状について | 安田 ひろみ | (明大) |
| 4. 新羅における神宮の設立とその性格に関して | 福士 慈稔 | (東方研究会) |
| 5. 韓国新都内の「正道教総本部」について | 丹羽 泉 | (東京外大) |
| 6. 韓国曹溪宗の僧侶大会から見た非暴力の未来 | 李 乾熙 | |
| 7. 崔浩の儒教観 | 春本 秀雄 | (大正大) |
| 8. 『詩經』周南・召南に見る宗教志向 | 栗原 圭介 | (大東文化大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | | |
|----------------------------------|-------|-----------|
| 1. 明恵の修道論 | 鈴木 善鳳 | (武蔵野女大) |
| 2. 仁和寺濟暹僧都の弥勒信仰について | 堀内 規之 | (大正大) |
| 3. 重源と栄西—京都市・遣迎院阿弥陀如来像への結縁をめぐって— | 青木 淳 | (日本学術振興会) |
| 4. 叡尊の戒律思想 | 蓑輪 顕量 | (東方研究会) |
| 5. 院政期文学における仏教の位置 | 藤原 正己 | (佛光大) |
| 6. 南都六宗の宗名について | 吉津 宜英 | (駒大) |
| 7. 『三十帖策子』と高野山—高野山第一回衰退説の検討— | 武内 孝善 | (高野山大) |
| 8. 周防長門の盲僧 | 伊藤 芳枝 | (山口女大) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|---------------------------------|--------|---------|
| 1. 新撰亀相記の肩乞祝詞 | 椿 實 | |
| 2. 記紀の検証—安芸の多祁理宮・埃宮と吉備の高嶋宮について— | 渡邊 綱吉 | (愛知学院大) |
| 3. 延喜式神名帳の「坐」神 | 白江 恒夫 | (芦屋大) |
| 4. 二条堯恵流歌道と神道の関わりについて | 田辺 建治郎 | |
| 5. 宮寺制神社の斎戒について | 佐藤 眞人 | (國學院大) |
| 6. 四天王寺における神仏関係 | 白山 芳太郎 | (皇学館大) |
| 7. 吉田神道における神観念について | 出村 龍日 | |
| 8. 諏訪大明神来臨伝承の分布と背景 | 島田 潔 | (國學院大) |
| 9. 三輪流神道の系譜について | 菅原 信海 | (早大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | | |
|------------------------|--------|------------|
| 1. 安藤昌益における「自然の神道」 | 濱砂 存儀 | (國學院大) |
| 2. 仏教の布教の中にあられる国家神道教義 | 菱木 政晴 | (西山短大) |
| 3. 井上正鐵遺文の概要 | 荻原 稔 | (府中朝日養護学校) |
| 4. 新渡戸稲造の神道理解 | 岩瀬 誠 | (國學院大) |
| 5. 日本における神観念の展開 | 三橋 正 | (青山学院女短大) |
| 6. テクストと人間—記紀注釈史をめぐって— | 磯前 順一 | (東大) |
| 7. 桜の聖と俗 | 高木 きよ子 | |

第7部会 (331教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|----------------------------|------------------|
| 1. 親鸞における「神祇護念」の問題 | 大松龍昭 (龍大) |
| 2. 『教行証文類』の説示にみる親鸞の神祇観 | 殿内恒 (龍大) |
| 3. 『親経』の構造的理解にみる「異方便」の意義 | 河智義邦 (龍大) |
| 4. 二河譬に見られる宗教心理 | 釋徹宗 (龍大) |
| 5. 『顕浄土真実教行証文類』にみる親鸞の廻向観 | 岡宏 (浄土真宗本願寺派宗学院) |
| 6. 親鸞の声点資料の研究—妙安寺本唯信抄について— | 金信昌樹 (龍大) |
| 7. 無量寿経の「世界」構想 | 村石恵照 (江戸川女短大) |
| 8. 親鸞における欲望の考察 | 菊藤明道 (京都短大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|-----------------------------------|-----------------|
| 1. 仏教における主体性について | 安藤章仁 (龍大) |
| 2. 真宗者の現場活動に関する一考察—現場の教学の構築をめざして— | 松向寺通法 (龍大) |
| 3. 真宗における業論の今日的展開 | 塚田博教 (龍大) |
| 4. 聖徳太子和讃の考察 | 御手洗隆明 (大谷大) |
| 5. 親鸞の往生観の課題 | 野村伸夫 (京都女大) |
| 6. 「将来する浄土」の教学性・哲学性 | 高田信良 (龍大) |
| 7. 歎異抄における慈悲の問題 | 西田真因 (真宗大谷派教学研) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------------|----------------|
| 1. 親鸞における仮・偽について | 三木彰円 (大谷大) |
| 2. 睡時十念考 | 神居文彰 (大正大) |
| 3. 常行堂の宝冠阿弥陀像をめぐる一・二の問題 | 苦米地誠一 (大正大) |
| 4. 菩薩としての願往生者—『大阿弥陀経』の場合— | 齊藤舜健 (佛教大) |
| 5. 隆寛における行と仏土 | 那須一雄 (浄土真宗教学研) |
| 6. 命終の心と信仰—貞慶の思想を中心として— | 城福雅伸 (龍大) |
| 7. 『歎異抄』の研究—江戸期における写本・刊本等をめぐる— | 林智康 (龍大) |
| 8. 『御文章』にみる救済論 | 徳永大信 (九州龍谷短大) |
| 9. 『念仏の形而上学』(青木敬麿)と『教行信證の哲学』(武内義範) | 田辺正英 (富山国際大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 近代日本仏教における政教論 | 野世英水 (龍大) |
| 2. 大正・昭和前期の妙好人伝と鈴木大拙 | 黒崎浩行 (大正大) |
| 3. 明治における「信教の自由」獲得への四段階 | 林田康順 (大正大) |
| 4. 現代における念仏信仰論について | 久米原恒久 |
| 5. 来馬琢道と曹洞宗の「寺族」問題 | 熊本英人 (曹洞宗宗学研) |
| 6. 現代寺庭の形成について | 深瀬俊路 (曹洞宗教化研) |
| 7. 反政教分離論と脱西欧運動 | 阿部美哉 (國學院大) |

第 8 部会 (334教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 専日をめぐって | 鈴木 一 馨 (駒 大) |
| 2. 彫文喪徳と琢磨増輝—道元における宏智理解について— | 何 燕 生 (東 北 大) |
| 3. 食文化史資料としての『典座教訓』 | 竹 内 良 英 (愛 知 学 院 大) |
| 4. 『正法眼蔵』における生死について | 粟 谷 良 道 (曹 洞 宗 宗 学 研) |
| 5. 道元禅師の言語観 | 岡 島 秀 隆 (愛 知 学 院 短 大) |
| 6. 盤珪の「不生禅」につきて | 和 田 真 二 (大 谷 大) |
| 7. 盤珪の不生禅—身心療法から見た「不生」の「仏心」— | 新 保 哲 (姫 路 独 協 大) |
| 8. 曹洞禅の展開と五位—瑩山下を中心として— | 佐 藤 悦 成 (愛 知 学 院 短 大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------|
| 1. 祖師鑽仰のための庶民教化の一視点 | 村 木 哲 山 (曹 洞 宗 教 化 研) |
| 2. 曹洞宗と国家—第1次世界大戦時局説教— | 工 藤 英 勝 (足 利 短 大) |
| 3. 鈴木正三の出家観について | 安 藤 嘉 則 (駒 沢 女 短 大) |
| 4. ロサンゼルスにおける禅センターと曹洞宗日系寺院の比較 | 浅 井 宣 亮 (愛 知 学 院 大) |
| 5. 曹洞宗における尼僧の地位に関する一考察—女性学的視座から— | 中 野 優 子 (曹 洞 宗 宗 学 研) |
| 6. 道元の「心」について | 松 岡 由 香 子 (N C C 宗 教 研) |
| 7. 禅宗祈禱寺院と庶民の接触について | 渡 部 正 英 (駒 大) |
| 8. 中世における玄住派の展開とその意義 | 原 田 弘 道 (駒 大) |

9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 円測と一乗仏性思想 | 橋 川 智 昭 (東 洋 大) |
| 2. 『法華経』における慈悲について | 野 際 清 美 (東 洋 大) |
| 3. 法華玄義における智妙 | 曹 良 淑 (立 正 大) |
| 4. 天台教学における仏と衆生の接点 | 柏 倉 明 裕 (大 谷 大) |
| 5. 最澄の教判について—直道をめぐって— | 高 佐 宣 長 (立 正 大) |
| 6. 金綱集の研究 | 中 條 暁 秀 (身 延 山 短 大) |
| 7. 「明闇」考 | 渡 辺 寛 勝 (身 延 山 短 大) |
| 8. 昭和六年における日蓮信仰者の動向 | 小 野 文 瑠 (立 正 大) |
| 9. 高橋五郎の日蓮論—仏基の対論— | 芹 川 博 通 (淑 徳 短 大) |

9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|------------------------------------|---------------------|
| 1. 本門三妙思想をめぐらる問題 | 田 村 完 爾 (立 正 大) |
| 2. 日蓮遺文にみる「医師」について | 野 口 眞 澄 (立 正 大) |
| 3. 日蓮の明鏡について | 三 輪 是 法 (立 正 大) |
| 4. 明治期における日蓮宗の開教活動について | 安 中 尚 史 (立 正 大) |
| 5. 日蓮の宗教における善と悪について | 原 慎 定 (立 正 大) |
| 6. 日蓮『注法華経』と要文の関連 | 関 戸 堯 海 (立 正 大) |
| 7. 近世初期における日蓮真蹟遺文の伝来—中山法華経寺を中心にして— | 寺 尾 英 智 (立 正 大) |
| 8. 「薬王丸事」と「一期略期」(日我)の日蓮伝承の人類学的考察 | 大 久 保 雅 行 (久 留 米 大) |
| 9. 日蓮聖人における法華経の実践と真実の証明 | 庵 谷 行 亨 (立 正 大) |

第9部会 (335教室)

9月10日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | | |
|----------------------------------|-------|---------|
| 1. 現存本「地藏菩薩靈驗記」について | 清水邦彦 | (筑波大) |
| 2. 「御霊信仰」概念の再検討 | 米井輝圭 | (東大) |
| 3. 生霊・呪詛・悪念-『源氏物語』六条御息所の生霊をめぐって- | 繁田信一 | (東北大) |
| 4. 「浄霊」における霊の操作について-晴明教の事例を中心に- | 尾堂修司 | (九大) |
| 5. 古代日本人の一つの発想について | 大西昇 | (東京工芸大) |
| 6. 占いの知と権威-明治の「易聖」高島嘉右衛門をめぐって- | 鈴木健太郎 | (東大) |
| 7. 近世陰陽道書の作者-『年中運氣指南』をめぐって- | 小池淳一 | (弘前大) |
| 8. 近世陰陽道と天曹地府祭の再編 | 林淳 | (愛知学院大) |

9月10日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | | |
|--------------------------------|------|-----------|
| 1. 山居と遊行-道元と一遍のばあい- | 土田友章 | (南山大) |
| 2. 中世起請文に見られる身体観 | 丸茂湛祥 | (立正大) |
| 3. 日本中世における靈魂観念-日蓮と一遍との対比を通して- | 笠井正弘 | (西日本短大) |
| 4. 齐明天皇と道教的信仰 | 芦名裕子 | (亜細亜大) |
| 5. 平田篤胤と他界の思想 | 遠藤潤 | (東大) |
| 6. 日本におけるホスピスとそのルーツ | 澤田愛子 | (富山医科薬科大) |
| 7. 生死の問題と生命倫理 | 金永晃 | (大正大) |
| 8. 散骨と環境問題 | 藤井正雄 | (大正大) |

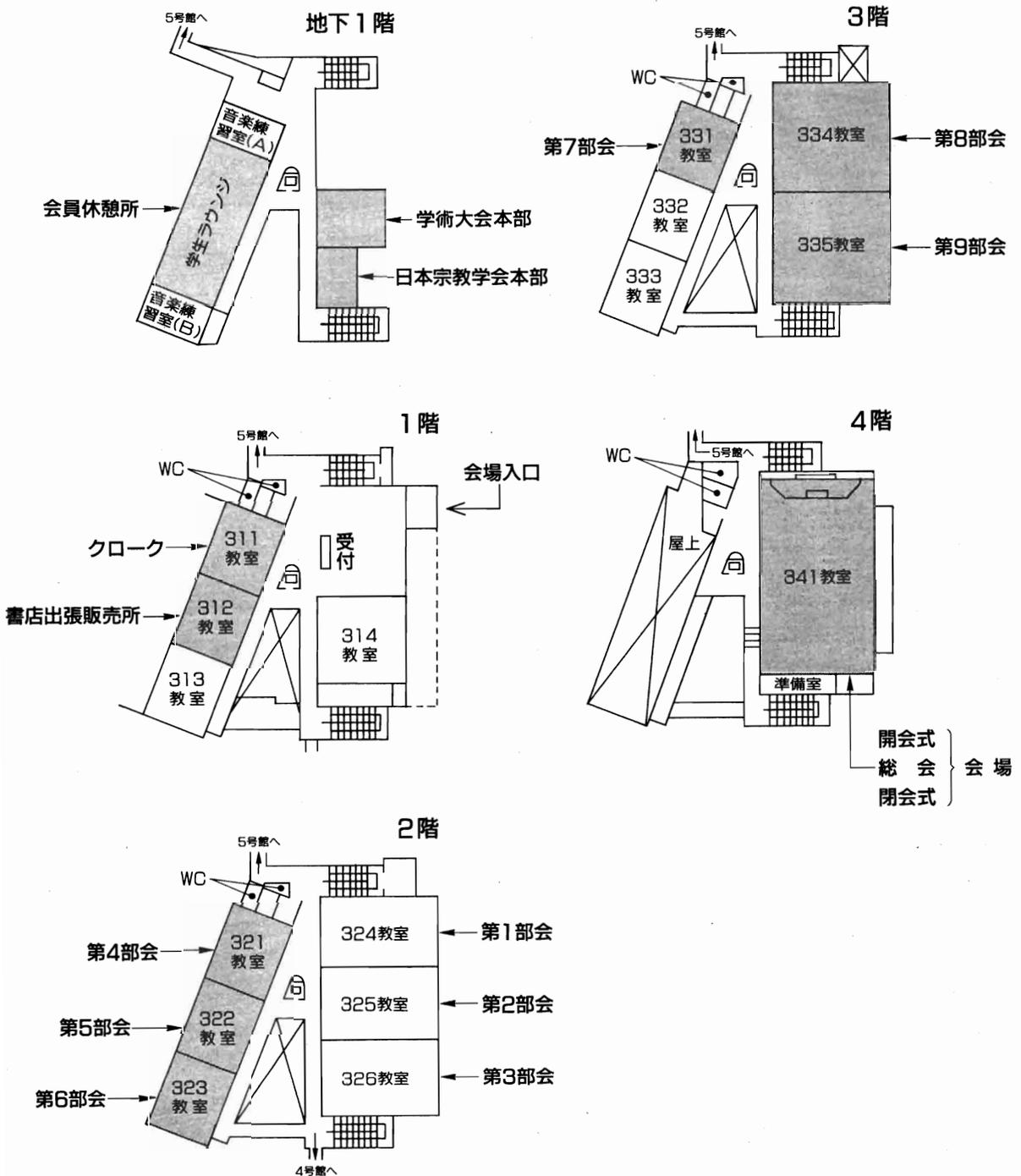
9月11日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|-----------------------------|-------|----------|
| 1. 愛知県内の神秘主義を中心とした宗教 | 川上光代 | |
| 2. 水子供養の諸相 | 鳥井由紀子 | (東海大) |
| 3. 大規模調査の実施と手法 | 宇野正人 | (江戸川女短大) |
| 4. 笠間稲荷信仰圏について | 松井圭介 | (筑波大) |
| 5. 地域神社の遷宮祭について | 櫻井治男 | (皇学館大) |
| 6. 村落の宗教性-滋賀県五箇荘町の集落を事例として- | 古賀和則 | (龍大) |
| 7. 北部沖縄における「両属」儀礼 | 白川琢磨 | (四国学院大) |
| 8. 沖縄県多良間村の竈神信仰 | 窪徳忠 | |

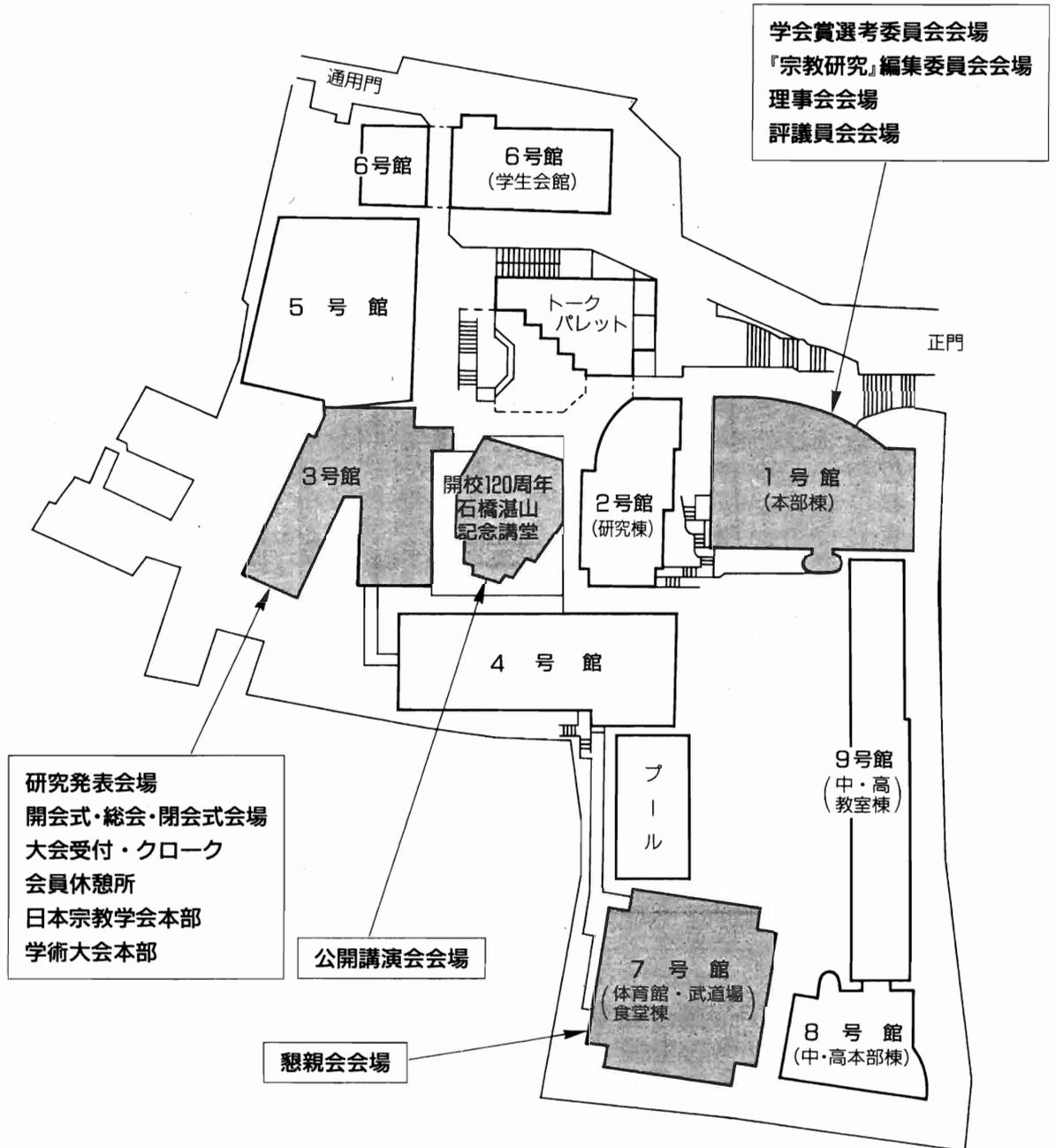
9月11日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | | |
|-----------------------------------|-------|----------|
| 1. 東南アジアの日本宗教 | 竹沢尚一郎 | (九大) |
| 2. 戦後台湾における日系新宗教の活動状況 | 藤井健志 | (東京学芸大) |
| 3. 現代タイの都市仏教における伝統と改革 | 矢野秀武 | (東大) |
| 4. ミャンマー・SSMNC議長、バゴ・ミョウマ長老の葬儀について | 平木光二 | (東方研究会) |
| 5. 童山の儀礼と世界観-シンガポール華人社会の事例から- | 杉井純一 | (武蔵大) |
| 6. アマラプラ派の宗門法規 | 橘堂正弘 | (椋山女学園大) |
| 7. 東南アジア華人社会の変化と民俗宗教 | 佐々木宏幹 | (駒大) |

3号館配置図



立正大学大崎校舎建物配置図



立正大学大崎校舎案内図

交通機関

- JR山手線／五反田・大崎駅
都営地下鉄浅草線／五反田駅
下車 いずれも徒歩7分
- 東急池上線／大崎広小路駅
下車 徒歩3分

